

みんなでカリキュラムの創造を！

- 文科省がすすめる「カリキュラム・マネジメント」は、膨大にふくれあがった学習指導要領の中身を吟味することなく、カリキュラムを編成させようとするものです。このままでは、目標準拠評価主義にもとづくPDCAサイクルに翻弄され、教育は矮小化し、「学力テスト」体制のもとで子どもたちの居場所となるべき学校は差別・選別の場へと変質していきます。

文科省は、今回の改訂でも「教育課程の編成主体は各学校にある」ことを示しています。教育課程の編成権は、私たちの手の中にあるのです。今こそ、「平和・人権・環境・共生」を基盤としたカリキュラムの創造をめざし、主体的な教育実践を積み重ねていきましょう。

- 目の前の子どもと語りあい、その思いや考えを受け止めることから始めていきましょう。私たちには子どもや地域に寄り添ったすばらしい実践が数多くあります。そうした実践から真摯に学び、子どもたち一人ひとりが他者との関係性を紡ぎ、ともに生きあえるよう、学びの質を高めていきましょう。そして、学校運営の意思決定にすべての教職員が主体的に参加できるよう、民主的な職場環境をつくり、協力・協働でカリキュラムを創造していきましょう。

